大 出 学 童 橋 数 量 総 括 表 (1)

種　別	規　格	細　別	単位	数量	適　用
1.橋面防水工					
舗装撤去工	コンクリート	t=6cm	m^3	1.9	
舗装復旧工	ポリマー改質Ⅱ型	AS20F　t=6cm	m^2	31.6	
防水層	シート防水		m^2	31.6	
導水パイプ		φ18	m	23.8	
ｼﾙﾊﾞｰﾒｯｼｭﾃｰﾌﾟ	幅150mm		m	23.8	
地覆削孔	φ30mm		m	2.22	
削孔部挿入PIPE	SUS304 PIPE	（片側ネジ切り）φ20mm	m	2.52	
フレキシブルチューブ	SUS304	φ20A（袋ナット付）	m	4.50	
充填ｼｰﾙ材			mml	871	
2.伸縮装置　設置					
A1橋台	固定側・車道用		m	3.98	
A2橋台	可動側・車道用		m	3.98	
コンクリートはつり			m^3	0.46	
後打ちコンクリート	σck=24N/mm2		m^3	0.46	
アンカー筋（SD345）	D16		kg	16.96	
コンクリートアンカー	（SS400相当品）	D16用	本	128	
シール材	シリコン系		ﾘｯﾄﾙ	0.56	

数 量 総 括 表 (2)

種　別	規　格	細　別	単位	数量	適　用
３.上部工補修					
サンダーブラスト			m^2	0.63	
ブラシがけ(エフロ除去)			m^2	0.5	
断面修復			m^3	0.0053	
４.下部工補修					
サンダーブラスト			m^2	0.68	
ブラシがけ(エフロ除去)			m^2	0.20	
ひび割れ注入			m	2.25	

NO. 1　橋面舗装・橋面防水層　数量計算書

項　　目	規　　格	計　算　式	単位	数　量
１）舗装撤去工				
コンクリート舗装切削撤去		A=　7.94　×　3.98	m^2	31.60
コンクリート舗装切削殻運搬		V=　31.60　×　0.06	m^3	1.90
コンクリート舗装切削殻処分		V=　1.90　×　2.35　÷　1.80	m^3	2.48
２）舗装復旧工				
改質アスファルトⅡ型				
	t=6cm	A=　7.94　×　3.98	m^2	31.6
３）防水層				
シート防水		A=　7.94　×　3.98	m^2	31.6
４）導水パイプ				
ﾄﾞﾚｲﾅｰⅡ　（φ18）		L=　4.00　+　7.90　+　4.00　+　7.90	m	23.80
ｼﾙﾊﾞｰﾒｯｼｭﾃｰﾌﾟ	幅150mm	L=　4.00　+　7.90　+　4.00　+　7.90	m	23.80
５）地覆削孔排水				
地覆削孔	φ30mm	L=　0.37　×　6	m	2.22
削孔部挿入PIPE				
SUS304 PIPE	φ18mm	L=　0.42　×　6	m	2.52
（片側ネジ切り）				
フレキシブルチューブ		SUS304 φ20A（袋ナット付）		
		L=　0.75　×　6	m	4.50
充填ｼｰﾙ材		V=　1 / #　×（ 3^2 － 2^2 ）×π × 37 × 6	mml	871
鉄筋探査		A=　0.50　×　2.22	m^2	1.1

NO. 2　伸縮装置設置　数量計算書

名　　称	規　　格	計　　算　　式	単位	数　量
コンクリートはつり		（想定）		
	A1橋台	V1＝　4.72 × 0.09 ×　0.25　＝　0.11		
	A1桁側	V2＝　3.98 × 0.09 ×　0.33　＝　0.12		
	A2橋台	V3＝　4.72 × 0.09 ×　0.25　＝　0.11		
	A2桁側	V4＝　3.98 × 0.09 ×　0.33　＝　0.12		
	計	ΣV＝ 0.11 ＋ 0.12 ＋ 0.11 ＋ 0.12	m^3	0.46
伸縮装置	CDs型－20用			
	A1橋台	固定側・車道用	m	3.98
	A2橋台	可動側・車道用	m	3.98
後打ちコンクリート	σck=24N/mm2			
	A1橋台	V1＝　4.72 × 0.09 ×　0.25　＝　0.11		
	A1桁側	V2＝　3.98 × 0.09 ×　0.33　＝　0.12		
	A2橋台	V3＝　4.72 × 0.09 ×　0.25　＝　0.11		
	A2桁側	V4＝　3.98 × 0.09 ×　0.33　＝　0.12		
	計	ΣV＝ 0.11 ＋ 0.12 ＋ 0.11 ＋ 0.12	m^3	0.46
アンカー筋（SD345）				
	A1桁側	D16 × 85		
		n =	本	32
		W = 1.560 × 0.085 × 32	kg	4.24
	A1橋台	D16 × 85		
		n =	本	32
		W = 1.560 × 0.085 × 32	kg	4.24
	A2桁側	D16 × 85		
		n =	本	32
		W = 1.560 × 0.085 × 32	kg	4.24
	A2橋台	D16 × 85		
		n =	本	32
		W = 1.560 × 0.085 × 32	kg	4.24
	計	ΣV＝ 4.24 ＋ 4.24 ＋ 4.24 ＋ 4.24	kg	17.0

コンクリートアンカー（SS400相当品）				
	A1橋台側	D16用	本	64
	A2橋台側	D16用	本	64
	計	ΣV＝　64　＋　64	本	128
シール材（シリコン系）				
	A1橋台側	25mm×15mm　L=740mm		
		V ＝ 0.025 × 0.015 × 0.740 × 1000	ﾘｯﾄﾙ	0.278
	A2橋台側	25mm×15mm　L=980mm		
		V ＝ 0.025 × 0.015 × 0.740 × 1000	ﾘｯﾄﾙ	0.278
	計	ΣV＝ 0.278 ＋ 0.278	ﾘｯﾄﾙ	0.56

NO.３，４　上部工下部工補修　数量計算書

遊離石灰(サンダーブラスト)

	横(mm)	縦(mm)	面積(mm2)
桁側面上流	100	450	45000
	850	300	255000
	200	400	80000
	300	200	60000
	350	400	140000
	350	150	52500
		計	632500
A1竪壁	50	200	10000
	150	200	30000
	100	50	5000
	50	200	10000
	250	250	62500
	50	200	10000
	100	150	15000
	100	200	20000
	600	50	30000
	100	250	25000
	700	50	35000
	50	200	10000
	250	150	37500
		計	300000
A2竪壁	1500	40	60000
	150	300	45000
	500	450	225000
	450	100	45000
		計	375000

ひびわれ 幅1㎜以下(ひび割れ注入工法)

	長さ(mm)
A1竪壁	150
	200
	1300
	200
	400
計	2250

エフロ(ブラシがけ)

	横(mm)	縦(mm)	面積(mm2)
桁下面	1000	500	500000
		計	500000
A2竪壁	450	450	202500
		計	202500

剥離(断面修復)

		体積(mm3)
桁側面上流側	250×250×80＝	5000000
	計	5000000

		体積(mm3)
桁側面下流側	300×30×30＝	270000
	計	270000

冬 期 僻 地 補 正 計 算 書

箇所名： 平成28年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事 箕輪町 大出学童橋

計 画 ・ 実施工期	・・・・・・・	平成	29	年	1	月	16	日	～	平成	29	年	3	月	24	日
冬期工事適用期間	・・・・・・・	平成	29	年	12	月	1	日	～	平成	29	年	3	月	31	日
寒中養生適用期間	・・・・・・・	平成	29	年	12	月	15	日	～	平成	29	年	3	月	15	日

1　現場管理費の補正（標準値に補正（加算）するものとするが条件が重複する場合は、最高２％とする。）

項目 / 月	全工事日数	冬期工事日数	寒中養生日数
4 月			
5 月			
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
10 月			
11 月			
12 月			
1 月	16	16	
2 月	28	28	
3 月	24	24	
合　計	68	68	0

a：冬期補正

区分	町　　村　　名	補正係数
4級地	伊那建設事務所管内全域	1.20

注）1 冬期率は少数点以下第３位で四捨五入、少数第２位とする。

2 補正率は少数点以下第３位で四捨五入、少数第２位とする。

冬期率 ＝ 68 / 68 ＝ 100 %

補正率 ＝ 冬期率 ＊ 補正係数 ＝ ＊ ＝

b:　僻地補正　（ｺﾝｸﾘｰﾄﾀﾞﾑ･ﾌｨﾙﾀﾞﾑ･CAB除く）

区分	施工地域・工事箇所区分	補正率(現場管)	補正率(共通仮)
市街地	ＤＩＤ地区	1.0	1.5
山間僻地		0.5	1.0
地方部		0.5	1.0
		0.0	0.0

補正値合計 ＝ ＋ ＝ (≦2.00%)

2　寒中ｺﾝｸﾘｰﾄ養生　　対象率＝ ＝

構造物種別	計算式	率	数量
			m3
			m3
			m3
			m3
			m3
			m²